

リベリア共和国モンロビア市による姉妹都市提携の希望

2012年9月
在ガーナ日本国大使館

今般、リベリア共和国モンセラード郡モンロビア市より、日本の都市との姉妹都市提携を希望する旨の要望がありました。以下、モンロビア市の概要を紹介いたします。



モンロビアの町並み

1 市の概要

(1) 基礎的データ

- 所在地：リベリア共和国モンセラード郡
(西経10度48分、北緯6度19分)
- 人口：970,824人(2008年国勢調査)
- その他の姉妹都市：アメリカ合衆国ペンシルベニア州フィラデルフィア、アメリカ合衆国オハイオ州デイトン、アメリカ合衆国ニューヨーク州ヨンカーズ、台湾台北市

(2) モンロビアは、大西洋に面したリベリア共和国の首都で、同国の政治、経済の中心です。熱帯性気候で降雨量が多く、季節は雨季(5月から11月)と乾季(12月から4月)とに分かれます。市内に位置する湿地帯はラムサール条約に登録されています。

2 モンロビアの歴史

1822年にアメリカ合衆国からの居住者がモンロビアの土地を取得し、アフリカ系アメリカ人解放奴隷を中心に入植が始まりました。1824年、アメリカ大統領のジェームズ・モンローにちなんでモンロビアという町の名前がつけられました。その後も入植の範囲が次第に広がり、1847年にリベリアはアフリカ最初の共和国として独立しました。1989年から2003年まで断続的に内戦が発生し、モンロビアも激戦地となりましたが、現在は平和が戻り復興が急ピッチで進んでいます。



モンロビアの海岸

3 モンロビアの特徴

(1) モンロビアはリベリア最大の都市で、同国の政治、経済の中心です。リベリアは鉄鉱石、ダイヤモンドなどの鉱業、天然ゴム、木材、カカオなどの農林業を主要産業にしており、モンロビアの港はこうした産品を海外に輸出する主要港となっているほか、我が国船主出資による便宜置籍船の主な便宜置籍港となっています。近年、鉄鉱石やオフショアの石油採掘を目的に多くの外資系企業が進出しています。

(2) モンロビア市内には歴史的な史跡・建造物が集中しています。ロバーツ初代大統領が建てた官邸・邸宅、最初にアフリカ系アメリカ人解放奴隷及びその子孫（アメリコライベリアン）と土着のリベリア人の同化政策をとったコールマン大統領の邸宅、歴史的に重要なアメリカ南部建築様式の法律図書館、アメリコライベリアンがはじめて降り立ったプ

ロビデンス島、アメリコライベリアンと土着のリベリア人との間で起こったFort Hill 戦場の跡等があります。

(3) また、市内に位置する6,760ヘクタールにおよぶメスラド湿地帯は、特殊なマングローブを有するほか、鳥や爬虫類の貴重種の繁殖地でもあり、ラムサール条約に登録されています。

4 姉妹都市に関するモンロビア市の意向

モンロビア市は内戦後退廃した都市機能の復旧および経済の活況を早期に取り戻すとともに、西アフリカにおいて最も清潔で緑溢れる町となることを目指しています。社会基盤施設の復旧・復興については、姉妹都市からの技術面の連携、特に都市計画策定から電力、下水道、上水道等の公共事業への日本企業の投資を念頭に置いた官民連携事業を促進したいと考えています。

【お問い合わせ先】

○外務省大臣官房総務課地方連携推進室

電話 03-5501-8491

メール gaimu-renkei@mofa.go.jp

○在ガーナ日本国大使館

電話 +233-302765060

メール koubun-L@ar.mofa.go.jp

なお、モンロビア市以外の都市でも日本の自治体と姉妹都市提携を希望している都市があります。詳しくは、以下の姉妹都市募集情報をご覧ください。

外務省ホームページ内「グローバル外交ネット」

(http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/local/action/sf_city.html#collection)